



小児も高齢者も、ワクチンで防ごう！肺炎球菌感染症

令和 7 年 1 月 9 日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和 7 年第 1 週分・12 月 30 日～1 月 5 日)

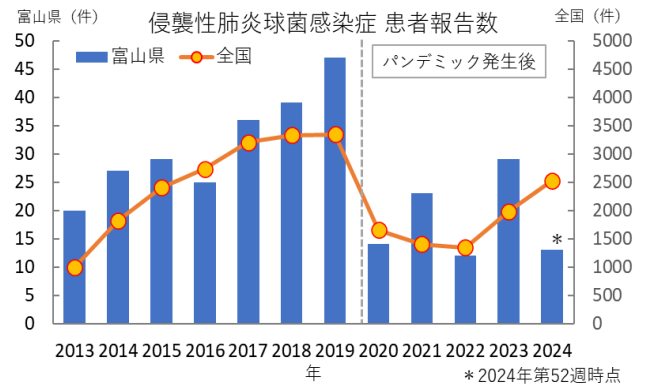
《 インフォメーション 》

● 侵襲性肺炎球菌感染症

肺炎球菌は主要な呼吸器病原性の細菌であり、乳幼児の鼻咽頭に高頻度に保菌されています。本菌は主に飛沫によって小児から大人に伝播すると考えられており、小児や成人に菌血症を伴わない中耳炎、副鼻腔炎、肺炎などの非侵襲性感染症を起こします。一方、本菌はときに髄膜炎や菌血症を伴う肺炎などの侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) を起こします。この IPD は本菌が血液や髄液などの通常無菌的な検体から分離できた場合に診断され、2013 年以降、5 類全数把握疾患になっています。

全国及び富山県の IPD の患者報告数は、2013～2016 年には増加傾向でした (上図)。2017～2019 年には全国の報告数は安定したのに対し、県では増加傾向でした。新型コロナウイルス感染症が流行した 2020～2022 年には全国、県ともに報告数は減少しました。これはマスク着用等の感染対策による肺炎球菌の飛沫感染伝播が抑制された結果と考えられています。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い感染対策の緩和が進んだ 2023 年には、全国の報告数が再び増加しました。高齢者の IPD では、重症化し、死に至ることもあります。特にインフルエンザ罹患後に IPD を発症すると致命率が高まります。抗菌薬治療は有効ですが、小児、高齢者において、肺炎球菌ワクチン接種による感染予防が重要です。

5 歳未満の小児に対しては 20 価肺炎球菌結合型ワクチンが 2024 年 10 月から定期接種として使用されており、生後 2 ヶ月から無料で接種できます (接種回数 4 回)。また、65 歳の方と、60～64 歳で免疫不全などの基礎疾患を持つ方に対して、23 価肺炎球菌ポリサッカライドワクチンが定期接種として使用されています (自己負担有り、接種回数 1 回)。詳しくは、厚生労働省の [高齢者の肺炎球菌ワクチン啓発リーフレット](#) をご確認ください。接種を希望される方は、忘れずに肺炎球菌ワクチンを接種しましょう。また、インフルエンザワクチンの接種も重要です。



《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1 件 (90 歳代、女性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 件 (90 歳代、男性)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件 (70 歳代、男性)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2 件 (①②ともに 70 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の富山県内上位 7 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	インフルエンザ	13.82 (↓)	26.90
2 位	COVID-19	2.91 (↓)	5.79
3 位	感染性胃腸炎	1.96 (↓)	9.10
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.64 (↓)	4.69
5 位	R S ウイルス感染症	0.14 (↓)	0.38
6 位	突発性発しん	0.07 (↓)	0.21
	水痘	0.07 (↓)	0.14



○感染症発生動向調査報告状況（令和7年第1週 令和6年12月30日～令和7年1月5日）

分類	疾患	今週報告分（第1週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1		1				1		1
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1		1				1		1
	五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1				1		1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1		1				1
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	1	2				1	1	2	
定点把握（45定点）	インフルエンザ／COVID-19定点（45定点）	インフルエンザ	234	59	111	117	101	622	234	59	111	117	101	622
		COVID-19	67	15	12	27	10	131	67	15	12	27	10	131
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症	1		1		2	4	1		1		2	4
			0.25		0.13		0.20	0.14						
		咽頭結膜熱	1					1	1					1
			0.25					0.04						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		2	1	12	18	3		2	1	12	18
			0.75		0.25	0.25	1.20	0.64						
		感染性胃腸炎	12	1	5	6	31	55	12	1	5	6	31	55
			3.00	0.50	0.63	1.50	3.10	1.96						
		水痘					2	2					2	2
							0.20	0.07						
		伝染性紅斑			1			1			1			1
					0.13			0.04						
		突発性発しん			1		1	2			1		1	2
					0.13		0.10	0.07						
ヘルパンギーナ	1					1	1	1				1		
	0.25					0.04								
流行性耳下腺炎			1		1	2			1		1	2		
			0.13		0.10	0.07								
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	8	1	5	19	14	47	32	16	23	29	24	124	
	COVID-19による入院患者	5	11	7	12	11	46	5	11	7	12	11	46	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

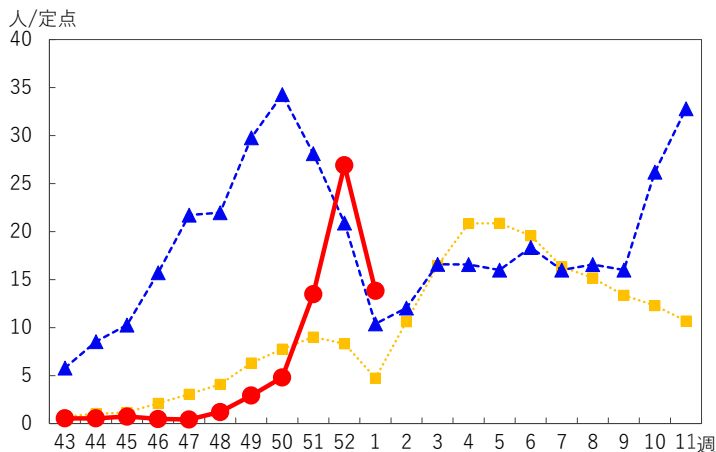
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2025（令和6）年 第1週（12月30日（月）～1月5日（日））

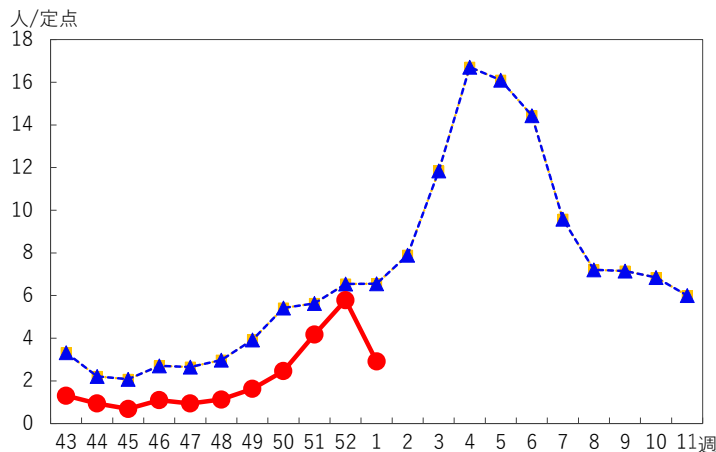
1月9日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

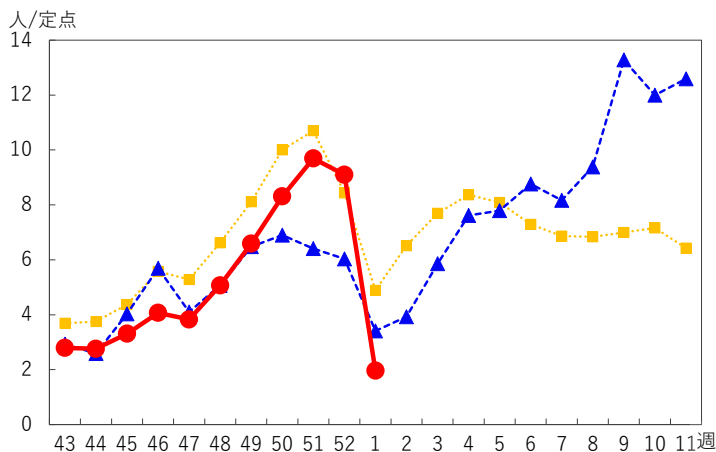
インフルエンザ



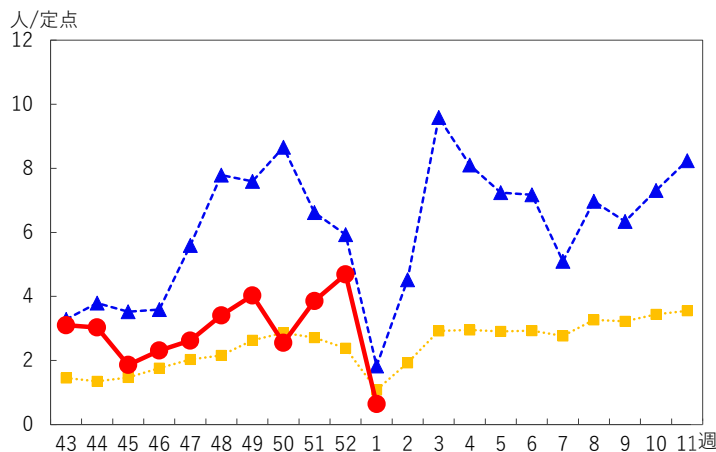
COVID-19



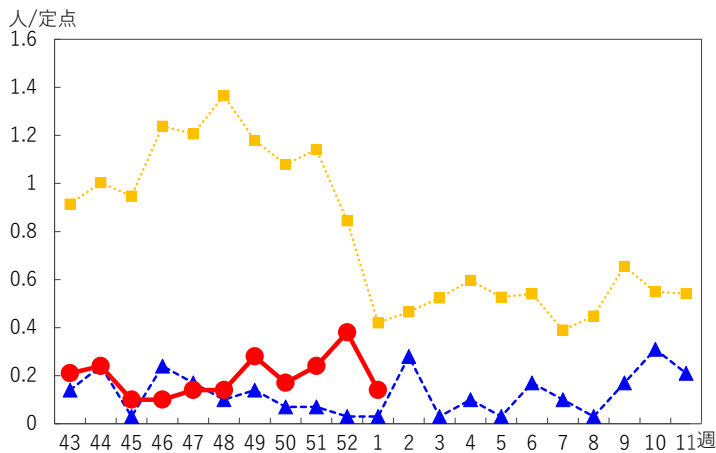
感染性胃腸炎



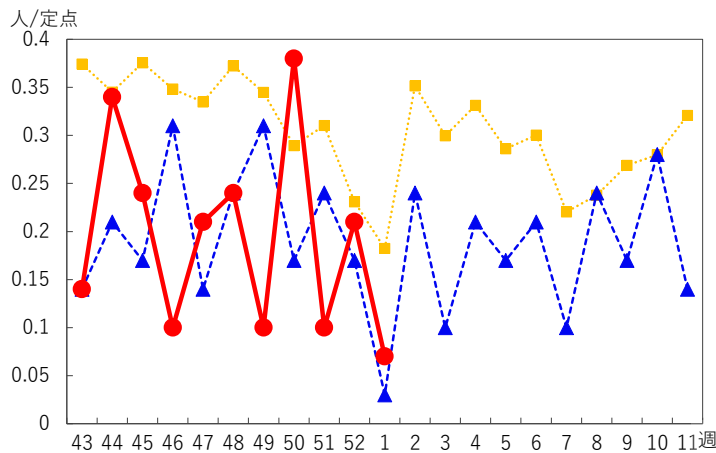
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



RSウイルス感染症



突発性発しん



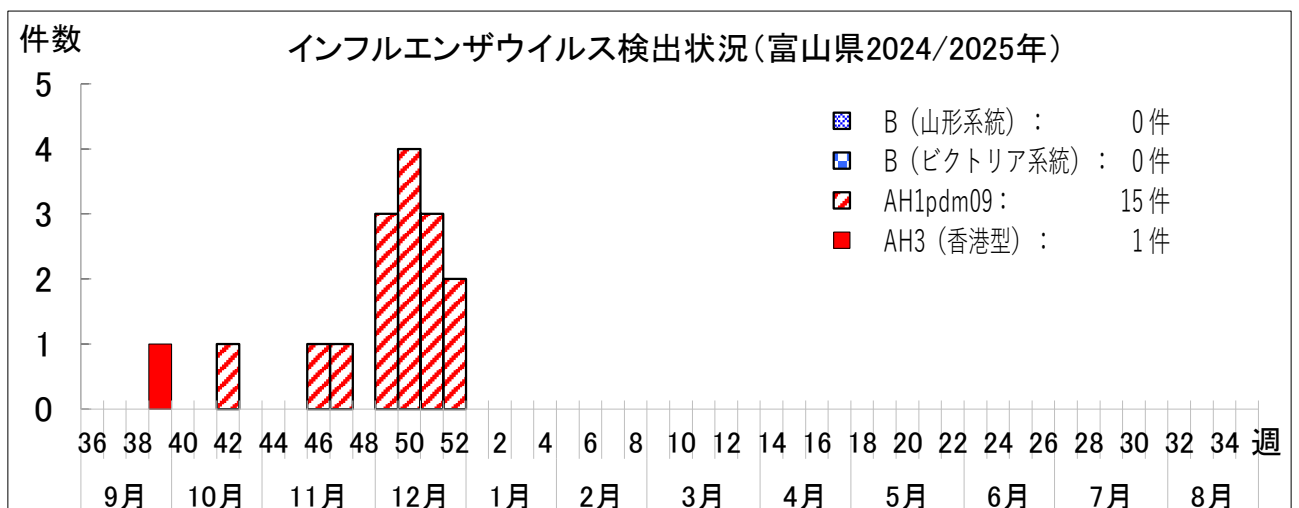
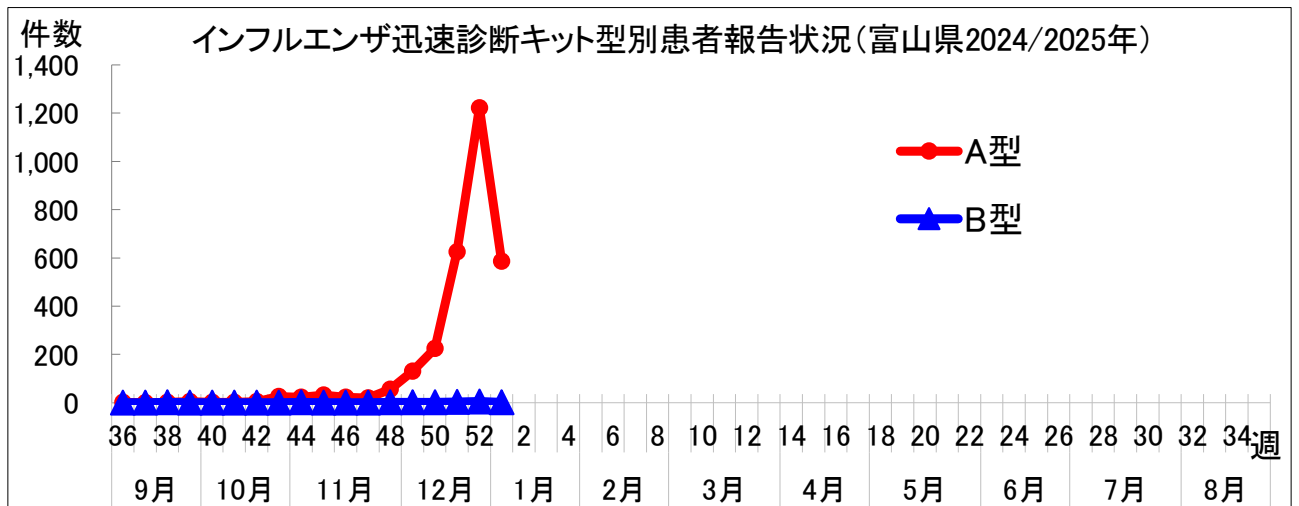
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が94.2%となっています。

第1週(12/30~1/5)：富山県 13.82人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	231	1	2	234
中部	5 / 5	53	0	6	59
高岡	11 / 13	95	0	16	111
砺波	7 / 7	112	0	5	117
富山市	11 / 13	95	0	6	101
富山県	40 / 45 ^{※1}	586	1	35	622
富山県累計(2024年36週~)		2,981	17	138	3,136

※1 45の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が40か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





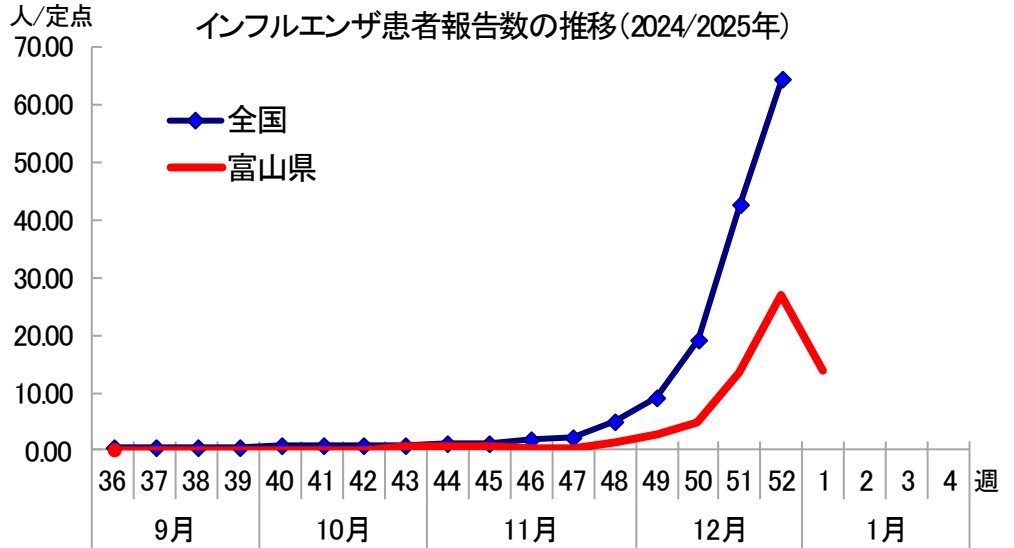
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第1週 (12/30~1/5) : 富山県 13.82 人/定点

新川 HC (33.43)、中部 HC (11.80)、高岡 HC (8.54)、砺波 HC (16.71)、富山市 HC (7.77)

全国の患者報告数は、第51週に42.66人/定点となり、警報レベルの基準である30人/定点を超えました。

県内の患者報告数は第1週に13.82人/定点となり、前週より減少しています。なお、年末年始に定点医療機関が休診した影響により、流行状況を過小評価している可能性があります。

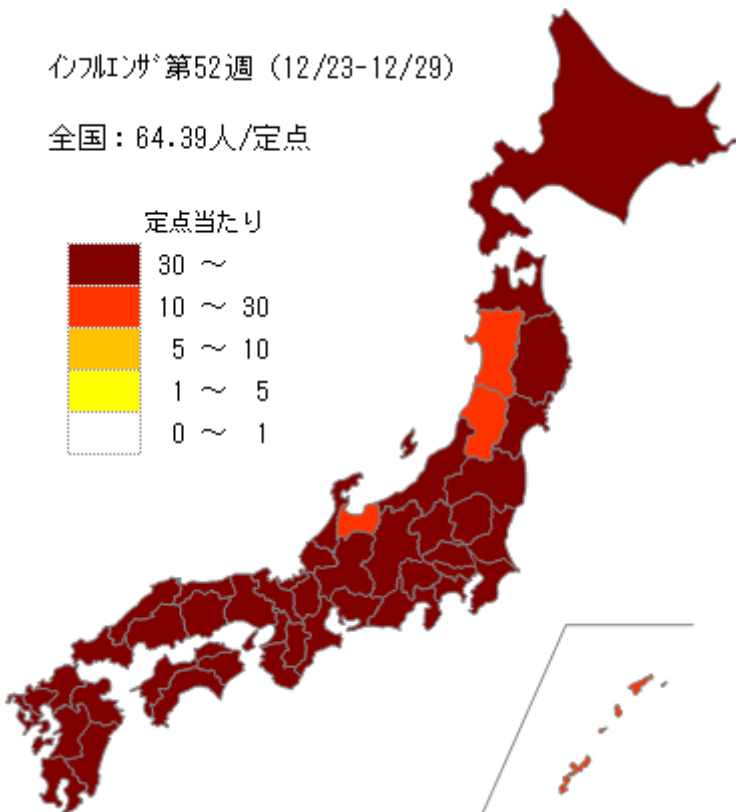


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第52週 (12/23~12/29)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり64.39人となり、前週の42.72人より増加しました。47都道府県すべてで前週より増加しています。

インフルエンザ 第52週 (12/23-12/29)

全国：64.39人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	59.87 ↑	滋賀県	55.78 ↑
青森県	34.10 ↑	京都府	54.88 ↑
岩手県	45.94 ↑	大阪府	67.53 ↑
宮城県	47.41 ↑	兵庫県	74.40 ↑
秋田県	29.46 ↑	奈良県	68.48 ↑
山形県	27.60 ↑	和歌山県	57.33 ↑
福島県	44.35 ↑	鳥取県	42.48 ↑
茨城県	65.11 ↑	島根県	50.58 ↑
栃木県	54.37 ↑	岡山県	63.76 ↑
群馬県	52.87 ↑	広島県	60.56 ↑
埼玉県	76.56 ↑	山口県	76.37 ↑
千葉県	78.52 ↑	徳島県	55.35 ↑
東京都	56.52 ↑	香川県	52.45 ↑
神奈川県	66.30 ↑	愛媛県	85.02 ↑
新潟県	38.08 ↑	高知県	57.93 ↑
富山県	26.90 ↑	福岡県	80.94 ↑
石川県	43.58 ↑	佐賀県	94.36 ↑
福井県	39.13 ↑	長崎県	82.27 ↑
山梨県	87.15 ↑	熊本県	92.56 ↑
長野県	47.74 ↑	大分県	104.84 ↑
岐阜県	50.28 ↑	宮崎県	90.24 ↑
静岡県	68.30 ↑	鹿児島県	96.40 ↑
愛知県	82.35 ↑	沖縄県	24.30 ↑
三重県	61.90 ↑	全国	64.39 ↑